

「こどもまんなか推進プログラム」

「テーマ4 社会全体の意識・構造改革」 — 「家庭内での家事・育児分担の推進」 **新規事業**

名もなき家事とは

- ・料理・洗濯・掃除といった代表的な家事の前後や隙間に発生し、名前は付かないものの、生活する上で欠かすことのできない細かな家事を指す。

料理・洗濯・掃除
以外にも生活に必要な
家事が隠れている

- ※「名もなき家事」の一例
- ・洗った食器を食器棚に戻す
 - ・汚れた洗濯物を集める
 - ・洗濯槽、排水溝、換気扇のフィルターを掃除する
 - ・ゴミ箱にゴミ袋をかける
 - ・資源ゴミや段ボールを仕分けて保管する など

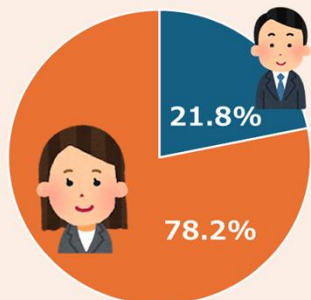
事業実施の背景

- ・家庭内での家事や育児の多くを女性が負担している現状がある。
- ・「名もなき家事」を実施していない割合は、若年層の方が高い傾向にある。
- ・大学生になって初めて自分自身で家事を行い、方法が分からないケースがある。

女性の家庭内負担

家事育児の約8割を女性が負担

■男女別家事育児時間の割合



「R3:社会生活基本調査」より

名もなき家事の実施状況

若年層ほど実施していない
割合が高い

■食器棚に食器を収納する(名もなき家事の一例)

若年層 自身で実施していない 計 37.9%

※15~29歳の男女

全体 計 28.4%

- あなた以外の方が主に実施している
- 実施していない

「R7:県政重要課題に係る県民アンケート調査」より

学生の家事実施状況

大学生になると自分で家事
を実施する割合が高くなる

■普段、家事をどのように行っているか

大学生 自分で家事をしている 計 54.3%

※県内在住

高校生 計 24.4%

- いつも自分でしている
- ときどき自分ですることがある

「R7:こどもの意見聴取アンケート調査(群馬県)」より

事業のねらい

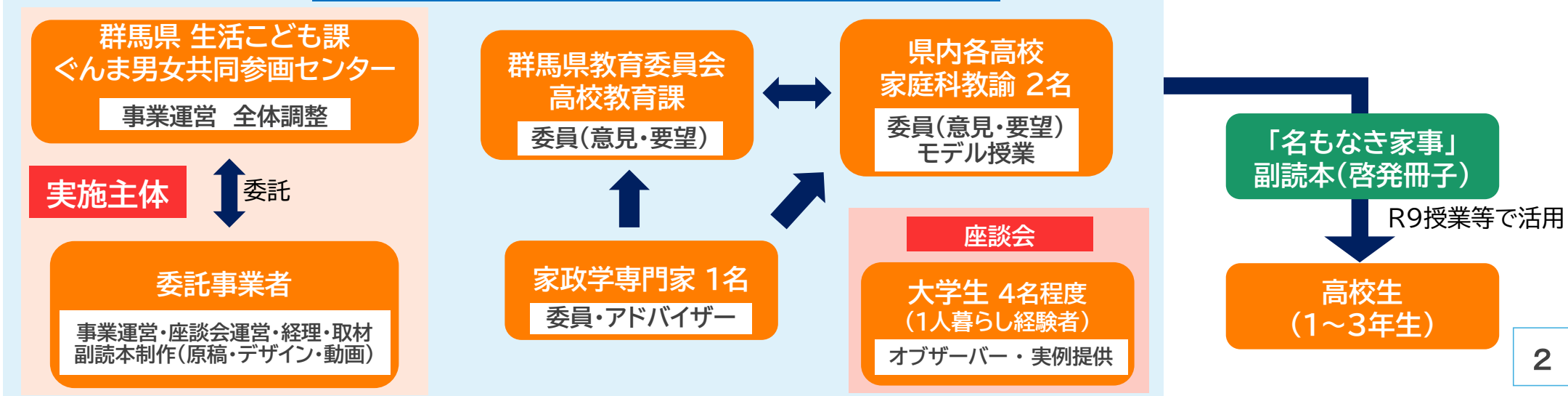
- ・ 若年層の「家事意識」「家事知識」を向上 ▶ “家事を楽しむマインド” “家事能力” が備わり、生活の質も向上
- ・ 若年層が将来的に家庭を築く選択をした場合 ▶ 男女ともに、家事や育児の“分担意識”が高い状態

事業概要

- 1 「名もなき家事」を啓発するための副読本を制作 **50,000部**
- 2 県内全ての高校生に配布 ※副読本データは県ホームページにも掲載
- 3 R9年度以降に **家庭科の授業等で活用** ※令和8年度内にモデル授業を実施

事業スキーム

「名もなき家事副読本制作」プロジェクトチーム



高校家庭科の教科書に掲載されている内容

※ 高等学校家庭科用文部科学省検定済教科書
「家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍(株))」より

男女共同参画・ジェンダー平等について

- ・ 男女共同参画社会基本法、ジェンダー、家事労働・無償労働、性別役割分業意識、ジェンダーギャップ指数等の説明。
- ・ 「家族で家事労働の責任を分かち合うことが大切」「男性は労働時間が長く、家事や子育てとの両立が難しい」と記載。

育児について

- ・ 現代の日本では、科学的根拠のない母性神話等の社会通念が根強く残り、子育ての役割を特に母親が担っている。

家事について

- ① 料理…調理の基礎的な知識、栄養素、献立、調理方法、調理工程、味付け等の説明。
- ② 洗濯…洗濯の手順、洗剤・漂白剤・柔軟剤の知識、洗濯表示、被服の保管方法等の説明
- ③ 掃除…特に掲載なし。(家の構造や換気方法等の「住生活」については記載あり)

教科書の掲載内容は
本事業と親和性が高い

副読本イメージ(案)

- ・ 教科書の掲載内容を補完し、「名もなき家事」を知るための“**一步先を行く副読本**”兼“**啓発資料**”とする
- ・ 「自身で一人暮らしをするイメージが湧く」「家事を自分ごととして捉える」ための“**意識**” + “**実践知識**”を掲載

構成イメージ (案)

※掲載内容はPTで検討し、決定する予定

「二つ折りA5サイズ」「16ページ程度」で構成することを想定。不足情報や実践動画はQRコードを掲載。

- ① **各ライフステージにおける「家事」** (誰でも、いずれのライフステージでも、生活に不可欠な家事について掲載)
- ② **名もなき家事って何?** (健康的な生活を送るために必要なこと、知らないうちに親がしてくれていた家事を知る)
- ③ **名もなき家事実践集** (名もなき家事の効率的な実践方法に係るアドバイス、20秒程度の実践動画を多数掲載)
- ④ **大学生の家事情形・困った体験談** (1人暮らし中の大学生男女を対象に座談会や取材を実施し、コラムとして掲載)
- ⑤ **群馬県の家事・育児分担等についての参考データ** (分担の理想と現実のギャップ、家事・育児時間の男女差 など)

実践動画イメージ(案)

※名もなき家事の内容や項目数はPTで検討し、決定する予定

“料理” にまつわる名もなき家事

“洗濯” にまつわる名もなき家事

“掃除” にまつわる名もなき家事



実践方法や動作をそれぞれ **20 秒程度** でまとめた動画を
合計: **15 本以上** 制作し、副読本にQRコードを掲載

視覚的に学べる

実施スケジュール(案)

令和8年4～5月 委託事業者公募・選定

5～6月 関係機関による連携体制「名もなき家事副読本制作プロジェクトチーム（以下「PT」という）」の設置

6～8月 **PT第1回**：副読本の内容検討 **PT第2回**：授業での活用方法事例の検討 <大学生の座談会開催・取材>

8～9月 副読本の原稿作成・デザイン・実践方法の動画撮影及び編集

9～10月 **PT第3回**：副読本の原稿・デザイン等の確認、修正内容取りまとめ ⇒ 修正作業

11～12月 **PT第4回**：最終確認 ⇒ **副読本校了・印刷作業**（11月下旬 動画の納品）

令和9年1月下旬 **県内各高等学校等あて必要部数を納品、高校生へ配布 厳守**

2～3月 完成報告会として、家庭科教諭等を対象とした**モデル授業**を実施

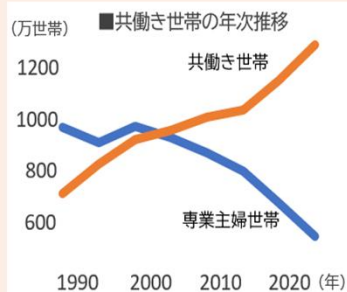
▶ **令和9年度以降に県内各高校等の授業で活用**

【参考】 家庭内での家事・育児分担等に係る現状と課題

1. 家事・育児の女性への負担が大きい

共働き世帯の増加

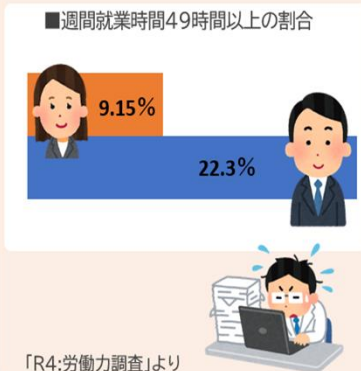
共働き世帯は年々増加



「R4:労働力調査」より

男性の長時間労働

男性は5人に1人が長時間労働

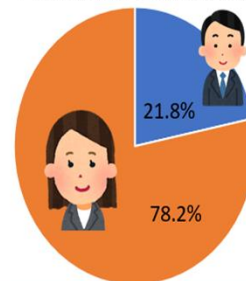


「R4:労働力調査」より

女性の家庭内負担

家事育児の約8割を女性が負担

■男女別家事育児時間の割合



「R3:社会生活基本調査」より

2. 家事・育児分担について理想と現実のギャップが大きい

「男女で分担すべき、分担している」と回答した割合

理想:約8割



現実:約3割

3. 子育て世代の女性*は、家事・育児時間を減らしたい傾向

*子がいる18~39歳の女性

家事時間を減らしたい:34.0%

育児時間を減らしたい:21.6%

▶ 家事・育児の負担軽減

4. 子育て世代の男性*は、育児時間を増やしたい傾向

*子がいる18~39歳の男性

家事時間を増やしたい:30.0%

育児時間を増やしたい:41.0%

▶ 家事・育児への参画促進

「群馬県 令和6年度男女共同参画社会に関する県民意識調査」より

【参考】 社会全体の機運醸成・次世代への好循環

